

CBR400R、CB400F、400Xシリーズのエンジンは、国内の次世代を見据え、スポーティーでありながら扱いやすい高品位でベーシックなグローバルスポーツエンジンとなることを目指し開発しました。

そのために、

- 次世代の環境対応型の水冷・400ccエンジンとは？
- お客様に満足いただける快適で扱いやすい400ccスポーツ用エンジンの出力特性とは？
- 走りを支える軽量・コンパクトでありながらも高品位な400ccエンジンとは？

を念頭に、エンジンの経済性や扱いやすさ、軽快かつスポーティーなライディングを実現する出力特性を目指し、低・中回転域はもとより、高回転域にいたるまでスムーズに回る軽量、コンパクトな国内専用の400ccエンジンを新たに開発いたしました。



<エンジン特性>

この新開発400ccのエンジン特性は、エントリーユーザーにも扱いやすいよう、最も使用頻度の高い、低・中回転域の特性を重視し、最大出力回転数を9,500rpmと設定しました。

このエンジン特性に適した水冷・直列2気筒エンジンは、9,500rpmまでの全域で吸入効率を高めるため、最適なバルブサイズを選定。ボアストロークはφ67mm×56.6mmとしています。

また、クランクは、180°位相とし、カップルバランサーをシリンダー背面に配置することで、振動低減と同時にコンパクトでスタイリッシュなエンジン外観を実現しています。

■低・中回転域重視の特性概念図

